

2024年度 第3回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2024年6月27日（木）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前10時00分

閉会時間 午前11時20分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	飯田 正巳
委員	向井 美紀
委員	升田 敏行
委員	鈴木 千佳

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	正木 一郎
	教育総務課長	木之瀬 晋弥
	教育総務課参事兼学校再編・施設整備室長	野崎 律男
	学校教育課長	寺坂 浩司
	学校教育課参事	吉谷 孝憲
	幼児育成課長	向原 芳江
	社会教育課長	旭 和則
	教育総務課参事兼課長補佐	栗垣 敦子
	教育総務課教育総務係長	足立 美由紀

事務局以外 こども支援課こども支援センター所長 鳥居 保

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

向井 美紀 委員

第2 前回の会議録の承認

2024年5月17日（金）開催 第2回定例会

第3 教育長の報告

第4 議事

- 議案第8号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について
- 議案第9号 豊岡市いじめ防止対策委員会委員の任命について
- 議案第10号 豊岡市奨学生の選考について
- 議案第11号 豊岡市社会教育基本計画の策定について
- 議案第12号 2024年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について
- 報告第6号 豊岡市オンライン学習通信環境整備費補助金交付要綱の制定について
- 報告第7号 豊岡市就学援助費受給世帯等特別給付金支給事業実施要綱を廃止する要綱の制定について
- 報告第8号 寄附物件の受納について
- 報告第9号 令和6年6月市議会答弁概要について

第5 教育委員会事務局の報告

- 1 教育総務課
 - (1) 小野小学校地区からの統合合意について
 - (2) 豊岡小学校分散進学解消の動きについて
- 2 学校教育課
 - (1) 生徒指導について
 - (2) 令和6年度学校園訪問日程について
- 3 幼児育成課
 - (1) 2024年度 園小接続研修会の開催について

第6 こども未来部の報告

- 1 こども支援課
 - (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後3時30分

(教育長)

ただ今から、2024年度第3回教育委員会会議を開会いたします。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は向井委員にお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

続きまして、日程第2 前回の会議録の承認についてです。5月17日に開催しました第2回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回5月17日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

5月21日に小中学校教頭会総会研修会がありました。それから6月7日に、これから校長になって頑張ろう、教頭になって頑張ろうという人たちが集まって、学校経営を学習する研修する会がありました。この二つの会で、私は一つの資料を引用して話をしました。それは教頭就任1年経った教頭先生が、今こんなことを感じていますとレポートにして報告してくれたものです。とても感銘したレポートです。彼は現状として5つの事を挙げました。

1つ目 人の役に立っているという実感。教頭になって人にありがとうと言われる機会が増えた。授業を終えて職員室に戻った時、出張文書を手渡した時、芝生の手入れを終えた時、そんな時自分は役に立っていると実感する。教頭職はとてもやりがいがあり、面白いなと感じている。

2つ目 成長できているという実感。学校組織にはまだまだ自分の知らないことがたくさんあることを知った。そのたびに教育委員会の担当主事や事務の先生、校務員さん等に尋ねて、その方々から知識と経験を学ぶことで賢くなったなと実感する。同時に学校組織を支えている多くの人々に感謝の気持ちが出ている自分に、人間として成長したなと感じている。

3つ目 学校を運営しているという実感。教頭先生どうしようと尋ねられ、判断・決断を迫られる場面が増えた。管理職としての責任の重さを感じるとともに、良い結果になった時の喜びも大きくなった。自分の言動が誰かに影響を与えていることに誇りを持ち、今後も経営に積極的に関わっていききたい。

4つ目 難しさを知った。相手に真意を理解してもらうのが難しい。こちらとしてはアドバイスのつもりで話すのが、相手には注意や指導と取られてしまうことがあった。誤解を生まないよ

うに遠慮しすぎると余計に言いにくくなってしまう。真意を伝えたり、私自身のことを正しく理解してもらったりすることはとても難しい。

5つ目 雑談のタイミングが難しい。先生方は忙しく働いているので、職務に関係のない話をするタイミングが難しい。逆にこちらがいつも忙しそうにしていると、先生方は私に話かけにくくなると思う。職場での雑談は思っていたより難しかった。

1年目、やりがいや面白いと感じていること、成長したと感じていること、誇りを持とうとしていること。そして正しく理解してもらうことや雑談することの難しさを感じている。これからは、教育哲学を磨くために、いろんな本を読んだり、話し合ったりしたいこと、相手の顔を見て挨拶をすること、尋ねられたらチャンスと捉えること、余暇を大切にしたいということ、そのような事を書いてくれました。

教頭の受験者が去年は極めて少なく、1人しかいなかった。今年はきっと多くの受験者が出ることを願ってこの話をしました。

【日程 第4 議事】

(教育長)

日程第4 議事に移ります。議案第8号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について、議案第9号 豊岡市いじめ防止対策委員会委員の任命について、及び 議案第10号 豊岡市奨学生の選考については、人事に関する事案となりますので、豊岡市教育委員会会議規則第17号により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

委員の承認を得ましたので、議案第8号から議案第10号までは非公開といたします。傍聴いただいている方は申し訳ありませんが、非公開議案が終了するまでご退席をお願いします。

○ 議案第8号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について

《 豊岡市立図書館の設置及び管理に関する条例第17条の規定に基づき、豊岡市立図書館協議会委員の任命について、社会教育課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

○ 議案第9号 豊岡市いじめ防止対策委員会委員の任命について

《 豊岡市いじめ防止対策委員会及び豊岡市いじめ調査委員会条例第3条の2項の規定に基づき、豊岡市いじめ防止対策委員会委員の任命について、学校教育課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

○ 議案第10号 豊岡市奨学生の選考について

《 豊岡市奨学生の選考について、応募者の状況及び奨学生選考委員会意見を教育総務課長が説明し、審議の結果、2024年度の奨学生が決定された 》

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。非公開議案のため退出いただいた傍聴人の方には、お入りいただくよう案内をしてください。

(教育長)

続きまして、議案第 11 号 豊岡市社会教育基本計画の策定について、社会教育課長の説明をお願いします。

○ 議案第11号 豊岡市社会教育基本計画の策定について

《社会教育課長の説明概要》

豊岡市社会教育基本計画の策定について、資料に基づき説明する。

これまでに社会教育という広い枠組みの中で、文化芸術、スポーツといったそれぞれ個別計画の策定を行って取組を進めてきた。今回、社会教育基本計画を策定し、これらの個別計画と連携し、市としての社会教育施策を総合的に推進し、社会教育全体として目指すべき姿、方向性、社会教育行政が果たすべき役割を示したい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、議案第 11 号 豊岡市社会教育基本計画の策定について、原案のとおりでよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

原案のとおり承認します。

(教育長)

続きまして、議案第 12 号 2024 年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第12号 2024年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について

《教育総務課長の説明概要》

2024 年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について、資料に基づき説明する。

5 月の教育委員会会議において、外部有識者の総評を除く内容を確認していただいた。

今回、外部有識者である安藤准教授の総評をいただき、今後の教育施策の取組について意見をいただいている。この点検・評価報告書（案）の内容で決定してよいか、審議いただきたい。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（鈴木委員）

資料 51 ページ、教育委員会施策の点検・評価について、検証委員会による検証結果とありますが、検証委員会はどのような方になるのでしょうか。

（教育総務課長）

校長先生や有識者の方で検証していただいている。

（鈴木委員）

それぞれの項目に、異なる検証委員会があるのでしょうか。

（教育総務課長）

検証委員会の中でも項目がたくさんあるので、グループ分けをして、それぞれの担当で検証を行います。

（鈴木委員）

わかりました。

（教育長）

他にご質問やご意見はありませんでしょうか。

（委員）

なし

（教育長）

それでは、議案第 12 号 2024 年度教育委員会の点検・評価報告書を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

（委員）

異議なし

（教育長）

原案のとおり決定します。この決定を受け、教育委員会の点検・評価報告書を市議会議員へ配布するとともに、市ホームページで公開します。

続きまして、議事（報告）に移ります。報告第 6 号 豊岡市オンライン学習通信環境整備費交

付要綱の制定について、学校教育課参事の説明をお願いします。

○ 報告第6号 豊岡市オンライン学習通信環境整備費交付要綱の制定について

《学校教育課参事の説明概要》

豊岡市オンライン学習通信環境整備費交付要綱の制定について、資料に基づき説明する。

就学援助費受給世帯を対象とし、自宅にGIGAスクール端末を持ち帰った際に、インターネットに接続できるWi-Fi通信環境を持たない世帯の方が、新たに通信環境を整備した際に、その初期費用として上限を3万円補助する制度となる。通信費については、整備初年度のみ初期費用と合わせて上限3万円の範囲内で給付する。6月5日に施行し、4月1日からの整備に適用する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、報告第6号 豊岡市オンライン学習通信環境整備費交付要綱の制定を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第7号 豊岡市就学援助費受給世帯等特別給付金支給事業実施要綱を廃止する要綱の制定について、学校教育課参事の説明をお願いします。

○ 報告第7号 豊岡市就学援助費受給世帯等特別給付金支給事業実施要綱を廃止する要綱の制定について

《学校教育課参事の説明概要》

豊岡市就学援助費受給世帯等特別給付金支給事業実施要綱を廃止する要綱の制定について、資料に基づき説明する。

令和5年度に物価高騰に直面する子育て世帯に対して、児童1人あたり5万円を給付した事業で、すでに事業を終えており、要綱の規定により令和6年4月1日時点で失効した。その失効した要綱を廃止するものである。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、報告第7号 豊岡市就学援助費受給世帯等特別給付金支給事業実施要綱を廃止する要綱の制定を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第8号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第8号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体3件、個人2件、合計5件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第9号 令和6年6月市議会答弁概要について、教育次長の説明を求めます。

○ 報告第9号 令和6年6月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和6年6月市議会答弁概要について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、令和6年6月市議会の答弁概要について、ご承知おきください。

【日程 第5 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

続きまして、日程第5 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) 小野小学校校区からの統合合意について、教育総務課参事の説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) 小野小学校校区からの統合合意について

《教育総務課参事の説明概要》

小野小学校校区からの統合合意について、資料に基づき説明する。

去る6月3日に地区のコミュニティ、各小野地区の区長会長、小野小学校PTA会長の連名で、

小野小学校の統合に関する書類を提出された。要望の1番目として、2026年の4月を目標に小坂小学校と統合を進めていただきたいとの項目が入っている。教育委員会で作っている小中学校適正規模適正配置計画では、1年早い2025年度としていたが、昨年度から地区と協議を進めていく中で、1年遅らせてという要望であったため、2026年で進めていきたい。7月末には第1回目の準備委員会を開催して検討していきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 豊岡小学校分散進学解消の動きについて、教育総務課参事の説明をお願いします。

(2) 豊岡小学校分散進学解消の動きについて

《教育総務課参事の説明概要》

豊岡小学校分散進学解消の動きについて、資料に基づき説明する。

豊岡小学校のPTAで「分散進学問題検討委員会」が作られ、検討を進めていただいている。4月27日のPTA総会で、7月にPTAで投票し3分の2以上の賛成があれば、豊岡南中のほうに集約するという要望書を教育委員会に出すと決められた。6月15日には3回目となる保護者間での分散進学問題に関する検討会が開催され、6月16日に地域説明会をされている。なお、分散進学解消の時期は、最短で2025年4月からと地域説明会で説明されていたため、そのスケジュールで進めていく。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

先日新聞だったと思いますが、きょうだいで別の学校に行くようなことになるのではないかと、いう点は今後検討していくということだったと思いますが、そういう議論はどうでしょうか。

(教育総務課参事)

その項目については、教育委員会からこういった課題があげられるということで情報提供をさせていただいた内容です。基本的には、たとえば北中にすでにお兄さんお姉さんがいる場合につきまして、来年の今の6年生から分散進学解消となって南中に行くのですが、お兄さんお姉さんがいる場合は校区外申請をしていただくことによって、北中への進学を認めようということ。あるいは来年6年生が南中に行く場合、北中のお兄さんお姉さんが、南中への編入を認めましょうという措置は最低限必要だと話をしています。いずれにしても校区外申請という形で出していた

だき、教育委員会が認めれば措置もできると話をしている状況です。

(飯田委員)

その辺は保護者の理解を得ながらと思っています。よろしくお願いします。

(升田委員)

件数は多いですか。

(教育総務課参事)

ほばないであろうと話聞いています。すでにきょうだい北中の方については、何件かあるということですが、2学期になると小中連携の授業が始まってくるため、早々に希望調査を学校で行い、人数を把握していきたいと聞いております。

(教育長)

他に質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、学校教育課からの報告に移ります。(1) 生徒指導について、学校教育課長の説明をお願いします。

2 学校教育課

(1) 生徒指導について

《学校教育課長の説明概要》

生徒指導について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(升田委員)

SNS は具体的にどんなことがあるのでしょうか。

(学校教育課長)

基本的には直接言わずにネットを介しての悪口です。今回は無いのですが、月によっては撮った画像を加工して載せるということも事例としてあります。

(教育長)

他に質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 令和 6 年度学校園訪問日程について、学校教育課長の説明をお願いします。

(2) 令和 6 年度学校園訪問日程について

《学校教育課長の説明概要》

令和 6 年度学校園訪問日程について、資料に基づき説明する。

今年度の教育委員の学校園訪問についてご覧いただき、スケジュールをご確認のうえ、もしご都合が悪ければ調整いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、幼児育成課からの報告に移ります。(1) 2024 年度 園小接続研修会の開催について、幼児育成課長の説明をお願いします。

3 幼児育成課

(1) 2024年度 園小接続研修会の開催について

《幼児育成課長の説明概要》

2024 年度 園小接続研修会の開催について、お知らせする。

園と小学校が相互理解を深め、スムーズな接続を意識した保育教育活動の実践に向け、教職員の資質向上を目指し研修会を開催する。兵庫教育大学大学院教授の鈴木正敏先生を講師にお迎えし、「子どもの学びと意思をつなぐ～幼児期と児童期の円滑な接続を目指して～」と題して講演をしていただく。鈴木先生には今年度福住幼稚園・小学校で園小接続の指導をしていただいている。市内の小学校・園には、すでに案内をしており、小学校からも多数の参加報告をいただいている。教育委員の皆さまもご都合がよければ、この研修会に参加いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

これで各課からの報告を終了します。

【日程 第6 こども未来部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第6 こども未来部からの報告に移ります。こども支援課 (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

1 こども支援課

(1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、通級児童生徒数は、延べ185人、実数22人である。平均すると1日8.8人が通ってきていた。個々の個性や、希望が尊重される状態を子ども達と一緒に作っていく感覚があると指導員は考えている。子ども達への関わり方の質を高めるため、親子の関係性にも注視していきたい。

5月6月に修学旅行があった。小学生では、支援センターに在籍している6年生が2人いるが、1人参加することができた。中学生は、3年生が6人在籍しているが、内2人が参加することができた。また、トライやるウィークが6月にあったが、2年生の在籍が6人おり、その中の2人は参加し、満足して帰宅している。

特別支援の取組状況は、5月の連休が終わると学習面、生活面での課題が顕在し、相談件数が増加している。新規相談依頼件数の5件中4件は発達検査の希望、内2件は中学校への進学に関わるものであった。他に直接保護者から相談を受け、学校園と連携し改めて相談依頼を学校に求めるケースが5件あった。また4月から実施している小学校の1年生訪問は、5月には16校が実施している。

家庭児童相談の取組状況は、児童虐待通告が9件、6世帯9人である。家庭相談員の対応件数は717件である。訪問回数は79回である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

センターに在籍している子ども達が、修学旅行やトライやるウィークに参加できた子が数人いるが、参加し帰ってきて、また学校に行こうかなと前向きな気持ちになることはありますか。

(こども支援センター所長)

あります。トライやるでは、中1の時から話をされていて、自分はトライやるでこんな所に行きたいと考えているという言葉も出ていた。先輩の姿を見たり、話を聞いたりすることで自分も行きたいと考えている。そのためトライやるウィークも効果があるのかなと思います。トライやるに参加した2名の内1名が、最近行われていた学校における期末テストで、教室にて全ての教科

を受験したと聞いている。

(鈴木委員)

通所の件ですが、子どもの実数や来所数が多いのですが、部屋は広いが1室で、子どもの中には人数が多い所が苦手で、少ないところに行きたい子どももいると思いますが、人数によっての対応はどのようなことをされているのでしょうか。

(こども支援センター所長)

多い時で、朝から子ども達が帰る時間帯まで、フルでその人数でいることはなく、出入りはあります。報告している人数よりは、実際は少ない状態はある。ただ、アイティの中の子ども支援センターはワンルーム型で、個別のブースがあるタイプではないため、併設している相談室で1人過ごしたい時には過ごすように対応している。また、ワンルームだが広いため、部屋の手前で過ごす子と奥で過ごす子で対応できるケースもあります。

(鈴木委員)

常に1人部屋で過ごす子は多くはないですか。

(こども支援センター所長)

多くはないです。特別な場合です。ずっと個室を使いたい子もいましたが、今その子は学校で個別の対応をしているケースになります。

(鈴木委員)

相談室を使って個別の対応をしているのはとても良いことだと思う。これからもよろしくお願いします。

(飯田委員)

支援センターに通う子どもが、学校に行きたくなくてもトライやるウィークや他のことであれば生き生きしている。何かそこに見出していきたいと考える中で、学校ではついていけなくても部活や何かの活動時間になれば学校に行くということはあるのでしょうか。

(こども支援センター所長)

あります。今年中学校に入学した生徒で、前回の定例教育委員会で話した再登校の動きをしている子の中の1人ですが、その生徒は部活動がとても気に入っており、部活動だけ行く日や支援センターで過ごしてから部活動に行く日などがあります。

(学校教育課長)

10年15年前を考えると部活動だけなんて参加はさせない、市内では一般的に行われていましたが、今は部活だけでもいいからと対応も変わっている。子ども達にとって非常にハードルが下がり、自分の思いが行動に移しやすくなっている環境で対応されているように感じます。

(飯田委員)

学業では学校が嫌いだが、小さい頃からクラブでバレーをしている子、野球をして活動している子がたくさんいます。それが中学校になってもやりたいと思い、時間になると行きたいと思える。何かそこからきっかけができ、学校に通えるように繋がらないかと思い、聞きました。

(教育長)

居場所が部活であれば部活へ行き、居場所が家庭科の授業であれば家庭科の授業を受け、その子のニーズに一番沿う形で行うことです。それが民間や地域に広がれば、市が一丸となって取り組むということです。

(教育長)

その他、ありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 委員活動報告に移ります。

(向井委員)

トライやるを見学しました。事業者の皆さんは、子ども達のことを色々考え、スケジュールも組んでいただき、本当に有意義な1週間を過ごしたのだなと思いました。子ども達もとても生き生きしており、事業者に感謝の気持ちでいっぱいです。

植村直己冒険賞の講演を聞きに行きました。今年度は4人2組の冒険家の方の話でしたが、とても良い話だなと思いました。2組4人の方がやることは違って、目的は違って、夢を持ちましょう、夢に向かって毎日少しずつでいいので少しの努力をしていきましょうと仰って、挑戦することに対しては自分も臆病であることが大切だ。だからそれが成功に繋がって今があるという話をしてくださり、きっと東中と西中の生徒には響いているのだろうと思いました。

また、五荘小のワークショップを見学しました。五荘小の1年生と2年生のパワーには本当に圧倒されました。あんな元気な、すごいパワーの子ども達は今までにないぐらいすごいパワーだなと思いました。しかしそうかと思えば、話を聞かないといけない時には静と動がはっきりしていて、1年生でも話を聞くときはきちんと聞ける。それが素晴らしいなと思いました。2年生は昨年経験していて慣れていたのも、スムーズに入っていけて、ファシリテーターの方とも顔見知りのようで、とてもワークショップを楽しんでいるなと思いました。1年生は初めてだったのですが、スムーズにワークショップに入れていけたと思います。1年生のクラスの中に特別支援の子が2人、先生が手を繋いで連れてこられ、1人の子が多動なのか、開いていた窓を急いで先生が閉められ、何となく緊張感が走りました。1人の子はワークショップに入っていました。1人の子はずっと1時間ぐらい周りをずっと走り回って、走り回っているのを楽しんでいるように思いました。ワークショップに皆と一緒に参加して、いろいろな経験をしてもらえるとうれしい

なと思いました。

最後に、教育委員会だよりが回覧で私の地域にも来て読ませてもらったのですが、地域の人達にも読んでもらい、一緒になって不登校の子ども達を守って行って、居場所作りにお力添えくださいと書いてあって、すごく良いなと思い、多くの人がこれを読んでくださって、協力してもらえるといいなと思いました。

(升田委員)

トライやるを見学に行かせてもらいました。本当に事業所がスケジュールをきちっと立てて、こんなことをさせてやりたいとしっかり明示されていて特によかったなど。こんなことを一生懸命にされて、我々が子ども達を学校に招き入れたとき、そこまでできていたかなと反省をしておりました。栃餅を作っている所にも行かせていただいたのですが「楽しいし面白い。」と一生懸命にしていました。顔がにこにこして、これはいい経験だなと捉えさせてもらいました。

次に、出石防犯協会というものがありますが、特に子ども達の安全安心を少し手助けしたいなという思いで、中心になって動いているということがあります。例えば、熊鈴がなくなったら熊鈴を補充するとか、保護者の方が迎えに出られるジャンパー等がなければ補充するとか、飛び出し人形など。スクールバス等迎えに行かれる場所だとかそういった場所の設置についても、何か協力できることがあれば、してあげてくれと今度の会長にしっかり頼んでおきましたので、また留保していただけたらと思います。

前に話したかもしれませんが、飛び出し人形が突風で飛んで、たまたま車が通った時にぶつかって、その弁償の問題になったこともあって、たまたま高齢者が出られるというために飛び出し人形を置いておこうと区がおいたもので、区が結局保証された。特に学校も子どもを守るために立たせていると思うのですが、そういった物の点検をきちっとしておいたほうが、思いもよらぬ気象でするので起きることもある。

最後に、道を歩いていたらたまたまコミュニティ・スクールの委員にお会いし、立ち話していましたが、小学生の子はわりと防犯で迎えに行くなど、何かされるため子ども達を通る所も見えるのですが、中学生の子どもが地域であまり見ることができないということで、その委員さんは前向きな委員なのでとても協力していただける委員さんなのですが、中学生の子ども顔が見られる状況がどのようにしたら作っていけるのかと。特にオープンスクールも行かれるでしょうし、行事もたくさん中学校で来るという機会はあるけれども、なるべく学校のほうからオープンにさせていただき、委員さんもどんどん学校に迎える機会を知らせてあげてほしい。行けるか行けないかは委員さんにもよりますが、そういう機会が沢山あると、2ヵ月に1回でも学校に顔を出すなど、子どもの顔も距離が近くなる感覚にとられると思いますし、そうすると問題意識や色々な事がもう少し委員さん個人も深まってくるのではないかなと思いますので、なるべく学校のほうからたくさん発信していただき、気楽に来られるような今まで以上に行っていただけたらありがたいという思いです。

(飯田委員)

4点あります。6月1日に植村直己冒険賞授賞式に参加しました。全く違うジャンルの探検で、2グループ4人の方が受賞されたのですが、1組目は宗教的、人種的、民族的な様々な構造を探究するもので、イラクの湿地帯の方で勉強された方です。もう一方は、ヒマラヤの方で、セ

ティ・ゴルジュを探検し挑戦され全く違うのですが、これも冒険かなと思い聞いていたのですが、その中でその4人の方が言われたことは、まず「楽しい。だから続けるのだ。」ということと言われて、やはり勉強でも何でもですが、「自分の生き方を楽しむ。」ということでした。このことは参加した子ども達にも、東・西中の生徒、府中小の子ども達に感じとってほしいなと思ったのが1つです。

2つ目は、先程ありました6月の日程で五荘小のワークショップについてですけど、本当にこの子達が1年生と思うぐらいハキハキと楽しく、まとまりのあるいい動きをしていたので、私もウキウキしてきた状態で、このグループが大きくなればよいなと思いました。

3つ目は、6月5日にトライやるウィークを見学。析餅を作る製造場に行き、それから河畔劇場に行つて、演劇の裏方や演じるようなことも勉強させていただいている様子を見て、日ごろのこととは違うことを通じて生き生きとする生徒の顔を見た時に、そういうことのきっかけが子ども達にとってはとても大事じゃないかなということを感じとった次第です。

日高の給食センターの方から献立表が来るのですが、トライやるウィークの子ども達が色々な調理をしている状況を写真撮つて、センターの人達がぜひ使つていいですかとのことで保護者の方に電話が入っていたのですが、ぜひ使つてくださいと。子ども達が生き生きしている様子が写真に出て、その事がまた友達の中でも話が出て、給食センターはこんなことするのだ、次行つてみたいわと言うような言葉を聞いた時に、トライやるウィークの効果は大きいと感じました。

それから6月13日に演劇的手法の授業を清滝小学校で見てきました。やはり人間が本能的に持っている能力を磨くということを感じました。普段とは違うそれぞれ生徒、子ども達の良いところを見つけるような授業だなと思っていて、これを見ていて思ったのは、これから小中一貫校、同一施設型小中一貫校になった時に、こういうことでこの子にはこんないいところがあるということが発見できる授業じゃないかなと思いました。担任の先生であれば、やはり常に見ているため、どうしても見方が固まってしまうというようなことがあると思うが、先生が変わることによって、担任の先生とは違うこの子は良い所持っているというようなことが話題になっていて、そのことがその子の成長に活かされていけばいいなと思いながら見ていました。

(鈴木委員)

初めに広報と教育委員会だよりに写真を載せていただきまして、周りの方からたいへん反響があり、励ましの言葉をたくさんいただいて、改めて責任感をもって頑張らないといけないなと思いました。

次に6月初めて視察に行つてまいりました。自然学校、トライやるウィーク、演劇ワークショップに行かせていただく中で、どの子ども達も目の前のことに一生懸命取り組んでいる姿勢が見られて、応援しながら視察させていただきました。その中でも演劇ワークショップについてお話をさせていただこうと思います。

私は小学校1、2年生と中学校1年生のワークショップに行かせていただきました。小学校1年生は45分、小学校2年生に関しては90分、中学校1年生も90分と結構長い時間ですが、たくさん子ども達が本当に楽しそうに目を輝かせて、最初から最後まで集中力がもっていたなという姿を見て、やり抜く姿勢、やり抜く能力というものが得られるような素晴らしいワークショップだなと感じました。その1つの要因としては、ファシリテーターさんの工夫があると思いました。例えば、子ども達の様子を見て、基本プログラムを少し柔軟に変えたり、子ども達が

表現すること、発言することに対して肯定的で、前向きな声掛けや反応を意識してされたりしたのが印象的でした。その工夫がより一層子ども達の意欲を引き出してもらって、楽しいワークショップにいただいているのではないかなと感じました。

また、5月の子ども達の様子を見ていて最初から最後までやり切れるかすごく不安でしたと言う先生がいる学校が2校あったのですけども、その中でも子ども達が最後までやり抜いていて、心配されることもあったと思いますが、しっかりと子ども達の中でやり抜く力というものができているように思いました。最後に、先生方とファシリテーターさんの振り返りの時間も見させていただいたのですけど、ファシリテーターさんがそれぞれ子ども達の名前を覚えておられ、この子はこういったことが上手でしたねとか、1年生の時にはできなかったが、今回はこういったことができたというようにとても褒めていただいて、1回の短いワークショップなのですが、次の学校教育に繋がられるようなよく考えられたワークショップだなと思いました。ワークショップを何校か見せていただいて、少し不思議に思ったことがあり、特に小学生2年生以上になるとある課題について話し合う、ディスカッションする時間がありますが、とてもスムーズにディスカッションが進められている学校もあり、その逆でファシリテーターさんが入って話し合いが成立するような学校もありました。同じ教育プランなのに、違いが出るのはなぜなのかなと思いました。

(嶋教育長)

答えがすぐに出る問題ではないのですが、同じ教科書を使って算数の勉強をしているのに、どうして差が出るのというのと同じ問題のように思います。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第4回定例教育委員会会議は、7月23日（火）午前10時から、本庁舎3階 庁議室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、次回の教育委員会会議は7月23日(火)午前10時から、本庁舎3階庁議室で開催します。

これをもちまして、第3回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午前11時20分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2024年6月27日

教育長

委 員